

虹の架橋

今月の題字
小林孝雄さん
(みどり市大間々町)

みどり市観光ガイドの会の仲間で小平正福寺の彫刻や天井画に詳しい小林孝雄さんは50年来の友人。小平サクランソウの会の広報役としても活躍しています。

カルテット・エスペラント+

フルート・弦楽四重奏とパーカッションアンサンブル
フルート・エスペラント+ は、フルートの荒川洋さん、ヴァイオリンの比呂マン聡平さん、チェロの弘田徹さん、ヴィオラの村松龍さんの弦楽四重奏にパーカッションの新田初実さんを加えた五人編成のアンサンブルです。クラシックな楽曲から新感覚なジャンルまでを網羅し、エスペラントな音楽を目指しています。

荒川洋さんは二〇一九年まで新日本フィルの副首席・首席奏者を務め「千と千尋の神隠し」などスタジオオジブリ作品の演奏も手掛けました。みどり市に新設される笠懸西小学校の校歌制作も手がけています。当日は「みどモスのテーマ」や、音楽と映像で表現する「私の好きなみどり市」なども披露する予定です。
新型コロナウイルス感染症対策を万全に行う公演です。前売券は足利屋、アスクにも置いてあります。

新型コロナウイルス感染症対策対応公演
カルテット・エスペラント+
～フルート・弦楽四重奏とパーカッションアンサンブル～
みどり市感謝祭
音楽で心が元気!
2022. **3.13** 日
開演 15:00 開演 14:30
会場 **グンエイホールPAL**
(笠懸野文化ホール)
〒376-2311 群馬県みどり市笠懸町同5579番地1



2021年11月19日(日) 電子予約開始 15:00～

前売	1,500円
当日	2,000円
高校生以下	前売・当日共500円


チケット販売開始日 2021年11月19日(日) 電子予約開始 15:00～

プレイガイド
●グンエイホールPAL TEL.0277-77-1212
●足利屋洋品店 TEL.0277-73-6868
●さらもーる TEL.0277-73-6611
●みどり市観光ガイド TEL.0277-22-9999
●グンエイホールPAL TEL.0277-77-1212
●新生書舗 TEL.0277-53-3133

カルテット・エスペラント+公演
2022年3月13日(日) 15:00開演
笠懸野文化ホール (パル)
一般 前売1,500円 当日2,000円
高校生以下 前売・当日共500円
*情勢により中止になる場合もあります。

世界一小さな 定利屋 トイレ美術館

今月の絵《318》
古美門佳一郎さん『雪国』



旧東村花輪出身の古美門(こみかど) 佳一郎さんは二十数年のお付き合いになります。昨年秋、古美門さんから三点の油絵をいただきました。その一枚が『雪国』で、他の二点も春と秋の山村の風景が描かれています。古美門さんは、郷土の歴史にも詳しく、『東村の銅街道』という本も執筆しており、興味深いお話も教えてくださいました。今月は足利屋の休憩コーナーでも古美門さんの作品を展示いたします。穏やかで誠実な古美門さんの人柄が感じられる作品を是非ご覧ください。

靖ちゃん日記

令和四年一月十六日(月)
なめめ黒子の会で、「シルクドウ、なめめ」のイベントを手伝った。日本人初のシルクドウ・ソレイユの団員となった桐生出身の眞澤秀人さん、沢入国際サーカス学校出身の森田智博さんと油布直樹さん、世界的なバルエカンパニーでプリンシパルのKバレエカンパニーでプリンシパル(主演)だった白石あゆ美さんら世界的なパフォーマーたちがなめめに集結した。客席に7mの3本のポールを組み立て、と白石さんが「エアリアルストゥップ」という天空パフォーマンスを披露。その力強さと優雅さに魅了された。会場の仕事も忘れ、白石あゆ美さんの指先から足のつま先までの動きを見惚れた。終演後、舞台衣装のままの白石あゆ美さんに頼んでツーショットの写真撮った。鼻の下から下まで伸びていた。愛妻の悪魔の囁きか聞こえた。
「とうあさん、とうあさん
おはなはなかなかいのね」

ちよにやちよに

歌になりました。そして明命に向けた超えたラブ律で国歌と定められたのは平成十一年のことでした。その「君が代」が辿ってきた旅を絵本で表現したのが「ちよにやちよに」です。白駒さんは「わずか三十二年から成る、世界で一番短い国歌『君が代』は世界で一番古い歌詞を持つ国歌でもあるのです。そこには和を尊び、命を慈しむ先人たちの真心が溢れていま屋さんでは、「寄付本プロジェクト」は、先人たちから今を創る子どもたちにもこの本を贈る活動もしています。



歌になりまして。そして明命に向けた超えたラブ律で国歌と定められたのは平成十一年のことでした。その「君が代」が辿ってきた旅を絵本で表現したのが「ちよにやちよに」です。白駒さんは「わずか三十二年から成る、世界で一番短い国歌『君が代』は世界で一番古い歌詞を持つ国歌でもあるのです。そこには和を尊び、命を慈しむ先人たちの真心が溢れていま屋さんでは、「寄付本プロジェクト」は、先人たちから今を創る子どもたちにもこの本を贈る活動もしています。

薄氷に踊る長靴通学路
俳句歳時記の中に薄氷(うすらい)という春の季語があることを知りました。「うすらい」とは春浅いころ、水たまりや池などに薄く張った氷のこと、と書いてありました。「うすrai」や「はくひょう」ではなく、「うすらい」と読むと何となく春の到来を予感させる響きがあります。そして、子どもの頃、登校する時に水たまりを見つけては飛び跳ねたり、踊るように水を割って遊んだことを思い出しました。今は一年で一番寒い時ですが、夜明けも少しずつ早くなり、春が一步一歩近づいてきています。



小耳にはさんだ

『ちよにやちよに』(発行・文屋)という絵本を読んで感動しました。虹の架橋でも何回か紹介したことがある白駒妃登美さんが文を書き、吉澤みかさんが温かい絵を描き、山本ミッシェルさんの英訳も入った素敵な絵本です。私たちの国歌「君が代」は今から千百年以上の平安時代に編纂された「古今和歌集」に収録された和歌です。その時は、「わがきみは ちよにやちよに さざれいしの いはほとなりて こけのむすまで」という歌で、恋する人に「小さな石が集まって大きな岩と

なり、そこに苔が生えてくるくらいあなたの命が続きますように、そしてあなたがずっと幸せでありますように」と詠んだ歌だったのです。そして百年ほど後に編纂された「和漢朗詠集」には、「君が代は 千代に八千代に さざれ石の いはほとなりて 苔のむすまで」と手が加えられました。「わが君」が「君が代」になったことで、和歌に新たな命が吹き込まれました。君というのは、恋人や親しい人だけでなく、一族の長老や主人も表します。君が代の「代」は命や寿命のことで「あなたの御代がいつまでも続きますように」という一族の繁栄を祈る

歌になりまして。そして明命に向けた超えたラブ律で国歌と定められたのは平成十一年のことでした。その「君が代」が辿ってきた旅を絵本で表現したのが「ちよにやちよに」です。白駒さんは「わずか三十二年から成る、世界で一番短い国歌『君が代』は世界で一番古い歌詞を持つ国歌でもあるのです。そこには和を尊び、命を慈しむ先人たちの真心が溢れていま屋さんでは、「寄付本プロジェクト」は、先人たちから今を創る子どもたちにもこの本を贈る活動もしています。

薄氷に踊る長靴通学路
俳句歳時記の中に薄氷(うすらい)という春の季語があることを知りました。「うすらい」とは春浅いころ、水たまりや池などに薄く張った氷のこと、と書いてありました。「うすrai」や「はくひょう」ではなく、「うすらい」と読むと何となく春の到来を予感させる響きがあります。そして、子どもの頃、登校する時に水たまりを見つけては飛び跳ねたり、踊るように水を割って遊んだことを思い出しました。今は一年で一番寒い時ですが、夜明けも少しずつ早くなり、春が一步一歩近づいてきています。

虹の架橋検索で、インターネットからでもご覧いただけます。

第三百十九は令和四年三月一日(火) 発行予定です。

やっちゃんの似顔絵提供：ひさかさん